広野町のあゆみ

S15
4月1日　広野町制施行、初代町長に根本一良氏
S30
4月　国勢調査人口6532人と過去最高を記録、炭田景気で賑わう。
S38
1月　小学校築地校舎工事全面改築終了
S46
3月15日　東京電力㈱火力発電所の建設誘致決定
S47
2月　町民号の運行始める。
8月　役場庁舎完成
S48
4月　広野町立広野幼稚園設立
S51
3月　幼稚園舎新築完成
10月　10月2日より待望の急行列車停車
S54
4月　東京電力㈱広野火力発電所1号機60万kw完成
6月　町民憲章制定
7月　東京電力㈱広野火力発電所2号機60万kw完成
S60
3月　広野駅が特急停車駅となる
5月　ミカンの苗木全戸に配布
S62
2月　小学校中央台に移転
S63
2月　役場庁舎増築工事完成
保育所建築工事完成中央台に移転
H元年
6月　東京電力㈱広野火力発電所3号機100万kw完成
H2
4月　NHKのど自慢大会開催
5月　二ツ沼総合公園一部供用開始
11月　町制施行50周年記念式典
H4
11月　東京電力㈱広野火力発電所4号機運転開始
H5
3月　児童館完成
4月　広野町民歌「広野賛歌」を制定
11月　第1回ひろの童謡祭り開催
H7
7月　Jヴィレッジがオープン、高円宮さまを迎えオープニングセレモニー
H10
4月　町民バス運行開始
H11
10月　「天皇皇后両陛下行幸啓」東京電力㈱広野火力発電所ご視察
H12
1月　2000年オープニングイベント開催
H14
3月　常磐自動車道いわき四倉～広野間開通
5月　アルゼンチン代表チームキャンプイン2002FIFAワールドカップ開会
H16
7月　東京電力㈱広野火力発電所5号機が営業運転開始
H17
4月　国際公認コースのパークゴルフ場（36ホール）がオープン
H18
4月　JFAアカデミー福島が開校（1期生17名）
5月　Jヴィレッジでサッカーワールドカップ日本代表が国内最終合宿（サポーター約66700人来場）
H20
7月　埼玉県三郷市と災害時における相互応援に関する協定を締結
H22
11月　町制施行70周年記念行事開催
H23
3月11日　14時46分　震度6弱の地震発生
15時30分頃　推定9mの巨大津波襲来
3月12日　15時36分　福島第一原子力発電所　1号機で爆発音、白煙が発生
18時25分　福島第一原子力発電所から20km圏内に避難指示
3月13日　11時00分　全町民に避難指示を発令（町長）
3月14日　11時01分　福島第一原子力発電所　3号機水素爆発
3月15日　11時00分　福島第一原子力発電所から20～30km圏内屋内退避指示発令
役場機能および災害対策本部を小野町町民体育館へ移転
避難所から旅館、ホテルなどへの二次避難開始
役場機能を小野町からいわき市常磐地区（湯本支所を設置）へ移転
4月9日　広野町全域が緊急時避難準備区域に指定される。
4月15日　役場機能がいわき市常磐地区（湯本支所）から本来の庁舎へ復帰。
4月22日　町長発令の避難指示解除
7月31日　一次避難所完全閉鎖
9月30日　緊急時避難準備区域解除
10月31日　二次避難所（旅館・ホテル）完全閉鎖
H24
3月1日　役場機能がいわき市常磐地区（湯本支所）から本来の庁舎へ復帰。
3月31日　町長発令の避難指示解除
8月27日　小中学校、幼稚園、保育所、児童館が町内で再開
H25
1月1日　東京電力㈱福島復興本社がJヴィレッジに設立

絆、深まる

三郷市のボランティアの方と広野の子どもたち

東日本大震災により、ふるさとを離れ、三郷市での避難生活がはじまった子供たち。

それぞれが慣れない土地での生活に不安を抱えていましたが、そんな思いを吹き飛ばしてくれたのが三郷市のボランティアの方でした。当時、大学生だった伊藤さん達は、現在もいわき市に定期的に足を運び、交流を続けています。

351号

平成11年11月発行の第351号。この号には、相双地方で初めて天皇皇后両陛下が広野町に来町された様子が掲載されています。また、この年には、21世紀の幕開けを目指し、２年間で全国を踏破する「伊能ウォーク」が開催されました。伊能忠敬が広野町を測量した資料も掲載されています。

309号

平成３年５月発行の第309号。この号より、Ｂ５版より現在のＡ４版に変更になり、表紙には子どもたちの元気いっぱいの写真が掲載されています。この年に、広洋台二丁目の造成工事が始まり、二ツ沼総合公園の宿泊棟・ローラースケート場・バーベキュー広場が完成しました。

全国から、力強い応援

応援職員のみなさん

東日本大震災以降、全国各地より、約200人の方々から応援職員の派遣をいただいております。その多くの方々が広野町の復興のために力になりたいと自らが志願。

４月１日現在、９名の方々より応援をいただいており、岐阜市役所から派遣されている山本さんは、「広野町が元の活気を取り戻せるよう、役場のみなさんと力を合わせて頑張ります」と話してくれました。

応援職員のみなさん、ありがとうございます。

号外

平成23年５月１日発行の広報ひろの号外。平成23年３月11日の東日本大震災以降、避難を余儀なくされている町民のみなさんに対し、広報ひろの号外を発行。広野町の情報や行政機能の情報などを掲載しました。

400号

平成15年12月発行の第400号。この号には、第15回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会の様子について掲載されています。この年は、平成14年11月16日にオープンした二ツ沼総合公園パークゴルフ場の利用者が5,000人を達成。また、平成14年３月23日に開通した広野ICの利用台数が100万台を達成しました。

382号

平成14年６月発行の第382号。この号には、2002年の日韓ワールドカップに向けて、アルゼンチン代表チームがＪヴィレッジでキャンプインする様子が掲載されました。広野町がアルゼンチン一色に染められました。